

日中観光交流促進に新たな一歩 相互往来の拡大へ関係者が意見交換

田川博己JATA会長が実行委員長を務める日中観光代表者フォーラム実行委員会(最高顧問＝二階俊博衆議院議員「自民党幹事長」一般社団法人全国旅行業協会会長)は12月4日と5日の両日、山梨県北杜市で「第1回日中観光代表者フォーラム」を開催しました。日中の相互往来の拡大について官民の代表者らが意見交換を行い、双方の観光業界や地域間の友好関係をさらに深めることなどを内容とする「山梨宣言」を採択しています。



JATAの田川博己会長



JATAの坂巻伸昭副会長

は、かつてない規模に拡大しており、両国民の相互理解の増進にもつながっている」と指摘。「そうした状況のもとで日中の観光を代表する皆さんが集まり、今後の日中交流の促進について議論を重ねることは、両国の観光交流の発展に新たな一ページを加えるものになる」と強調しました。

「中日友好の根は民間にあり」

中国文化旅游部の李金早副部长もフォーラムの開催について、「両国の文化・観光・人的交流にとつて非常に大事な出来事」とした上で、「中日友好の根は民間にあり、中日関係の前途は両国民の手に委ねられている」と指摘しています。

官民の観光代表者が意見交換

冒頭で挨拶した二階幹事長は、「二衣帯水の隣国同士として2000年を超える交流の歴史の中でお互いに学び、積み重ねてきた日中間の人的・文化的交流

二階幹事長は、日中間における双方向交流人口の1500万人達成が視野に入ってきている中で、「交流による経済効果や地方都市への波及効果を地域の隅々まで



日中両国の観光関係者が一堂に会したフォーラム



自民党の二階俊博幹事長



中国文化旅游部の李金早副部长



赤羽一嘉国土交通大臣

日本と中国の間では、昨年11月に開催された「ハイレベル・人的文化交流対話」の第1回会合で「人的・文化交流」の促進を多様な形で推進することが合意されており、李副部长は「今回のフォーラムは、その合意を具現化するもの

として初めて実施されたものだ」と語り、その意義を強調しました。

1980年代に商社の駐在員として北京と南京で3年間を過ごした経験を持つ赤羽一嘉国土交通大臣は、「2015年に3000人規模で訪中した日中

観光文化交流団に参加し、習近平主席をはじめ中国側の皆さんと友好の絆を深めた」と流暢な中国語で挨拶。「中国には日本人旅行者が訪れていない地域も沢山残されており、訪日中国人旅行者の皆さんが知らない日本の地方都市も多く、地域間交流のポテンシャルも大きい」と期待を示しています。

コンテンツ開発と枠組みづくり

第1回日中観光代表者フォー



春秋航空日本の王煒会長



山梨県の長崎幸太郎知事



和歌山県の仁坂吉伸知事

ラムで議長を務めたJATAの田川博己会長は、「『日中は良い時も悪い時も民間交流を絶やさず、関係者が会い続けることが大切』という二階幹事長の発案に李副部長が賛意を示して、具体化が進められてきたと説明しました。

また、同フォーラムで「青少年交流」について発表したJATAの坂巻伸昭副会長は、「若者の体験を積み重ねることが交流の厚みを増すものとなり、今後の日中交流の礎を築くものである」との認識を示し、観光庁とJATAが中国への修学旅行を活性化させるためにワーキンググループを立ち上げたことを紹介。今後設定される政府目標をより早く達成し、次のステージに進むために、

「姉妹都市2・0構想」を提案

みづくり、の2点をJATAとして提案しています。修学旅行は学習活動の「環」であり、文化や生活、環境など、学習効果の大きいコンテンツが求められるとともに、学校交流の斡旋などのための官民による連携協力も不可欠です。

日中間における地域間交流の拡大に向けて、春秋航空日本の王煒会長は、同航空が乗り入れている新潟県と道東で春秋航空グループとして商品開発を進めていることを明らかにしました。同グループでは、*Visit Japan More*をキャッチフレーズに、訪日中国人旅行者のリピーター化に取り組んでおり、新潟県と中部地方の旅行会社や釧路市・根室市・日本航空などと協力して「地域の魅力を掘り起こしていく」方針です。

今回のフォーラム開催地となった山梨県の長崎幸太郎知事は、今年で35周年を迎える四川省との友好都市関係をベースに、「文化交流」と「食の交流」の拡充を図る考えを表明。交流を拡充す

るだけでなく、新たな価値を生み出す「姉妹都市2・0構想」を提案しました。

さらに、和歌山県の仁坂吉伸知事も、山東省との35年におよぶ姉妹県関係が「公害対策」や「高齢者福祉」などの分野での協力関係に広がってきたことを紹介し、日中観光代表者フォーラムの次期開催地として立候補する考えを表明しています。



フォーラムには日中合わせて約300人が参加した

みちのく潮風トレイルを歩く

JATAは昨年10月、宮城県
の気仙沼市と南三陸町で「み
ちのく潮風トレイル」のルート
を中心に、東北復興支援活動
「JATAの道プロジェクト」を
実施しました。今年度で6回目
を数える同プロジェクトには総
勢100人近くが参加し、観光
交流の活発化を通じた地域経済
の振興を図るための実地踏査を
行っています。



今回の実地踏査に参加した皆さん

東北観光の活性化めざして

総勢100人が気仙沼市と南三陸町で研修

復興のシンボルなどを視察

第6回JATAの道プロジェクト「みちのく潮風トレイル」実地研修には、JATA会員企業の社員や関係団体、地元自治体、地元観光関係者や環境省職員など95人が参加しました。

10月3日と4日に実施された研修では、三陸復興国立公園に位置する気仙沼市の景勝地「巨釜半造」や大理石海岸、御崎のトレイルウォーキング、宮城県が復興のシンボルとして整備を進めて昨年4月に開通した気仙沼大島大橋や昨年3月にオープンした東日本大震災遺構「伝承館」の視察などを実施。

南三陸町では、南三陸さんさん商店街を訪れ、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた志津川地区の事業者が集まり、2012年に仮設商店街としてスタートし、賑わい再生の拠点となっている

取り組みを視察しました。

旅行需要拡大し地域を盛り上げ

気仙沼市の留守洋平副市長は10月3日に開催された交流会で、三陸道の延伸などインフラ整備に伴って観光客が増加していることに言及し、「豊富な海の資源も有する気仙沼では、自然を体験できる『みちのく潮風トレイル』を活用した周遊観光の振興が重要性を増している」と指摘。

JATA国内旅行推進委員会の委員長も務める坂巻伸昭副会長は、「今回の視察で実地踏査したトレイルコースや周辺観光素材などの情報を積極的に発信して

旅行需要の拡大を図り、地元と一体となって地域を盛り上げていきたい」と意欲を示しました。

環境省国立公園課国立公園利用推進室の中島尚子室長も、「『みちのく潮風トレイル』を活用して周辺地域に旅行者を送り込んでいただくことは非常に重要であり、『JATAの道プロジェクト』を通じて東北観光の活性化を図ってほしい」と呼びかけています。

主体的な実地踏査により商品化

JATAは2021年3月までの7年間にわたり、会員会社が主体的に実地踏査を行って商品化につなげる「JATAの道プロジェクト」を実施してきており、2020年度で最終年度を迎えます。



御崎海岸遊歩道でのウォーキング



昨年4月に開通した「気仙沼大島大橋」



将来にわたり震災の記憶を伝える「伝承館」

島根県松江市でインバウンド商談会 山陰地域への訪日外客誘致を促進

JATAは12月11日、島根県松江市で「JATA山陰インバウンド商談会」を開催しました。国土交通省中国運輸局、山陰インバウンド機構との共催により、同市の「くにびきメッセ・島根県立産業交流会館」で開催された商談会には、島根・鳥取両県の自治体や観光協会、観光事業者とJATA会員など125人が参加しました。

JATA訪日旅行推進委員会需
要拡大部会の香取早太副座長、
島根県の藤原孝之副知事の挨拶
に続いて、同部会の喜田康之座長
が「拡大するインバウンド需要を
山陰でいかに取り組むか」をテー
マに講演を行いました。

第2部で自治体・観光協会な
ど44団体がPRを行った後、第3
部では、JATA会員企業とセ
ラーによる248商談が実施さ
れました。

今回で10回目を数えた「JATAインバウンド商談会」は、訪日外国人旅行者の増加に伴う大都市圏やゴールデンルートへの「極集中」の解決を図り、地方誘客を促進すると同時に、JATA会員各社による各地での最新情報収集とネットワークづくりを目指すものです。

3部構成で実施されたプログラムの第1部では、中国運輸局観光部長の九鬼令和氏と山陰インバウンド機構の福井善朗代表理事、

1月7日 新春交賀会
11月20日～21日 国内旅行委員会

12月5日 LADY JATA
委員会

12月11日 幹事会
12月13日 海外旅行委員会
12月15日～16日 インバウンド委員会

12月20日 国内旅行委員会
1月9日 千葉県地区委員会
賀詞交歓会

1月7日 福井地区委員会
賀詞交歓会
1月8日 富山地区委員会
賀詞交歓会

1月9日 愛知岐阜三重3地区
委員会合同
賀詞交歓会
1月9日 静岡地区委員会
賀詞交歓会

1月15日 総務消費相談
合同委員会
1月24日 空港委員会

12月5日 国内・海外・インバウンド
合同委員会
12月10日～11日 総務委員会

12月13日～14日 幹事会
12月24日 クルーズ販売セミナー
1月7日 幹事会・関西支部
年賀会

〈中四国支部〉

12月25日 学生向け旅行業界
研究セミナー

〈九州支部〉

11月21日 旅博2020委員会
11月24日～25日 本部連携・対馬視察と
現地意見交換会

11月29日 実務委員会
12月10日 消費者相談委員会
12月17日 幹事会
12月18日 海外旅行委員会
12月20日 国内旅行委員会
1月7日 総務委員会
1月8日 新年賀詞交換会
1月8日 総務委員会
1月8日 実務委員会
1月8日 国内旅行委員会
1月8日 海外旅行委員会
1月8日 訪日旅行委員会

11月25日 沖繩観光危機管理
セミナー
12月18日 幹事会・忘年会
12月19日 ダムツアーリズム体験会
1月6日 沖繩観光新春の集い

〈北海道支部〉

11月21日 海外旅行委員会
11月26日 訪日旅行委員会
11月27日 帯広旅行委員会
11月28日 国内旅行委員会
11月29日 函館旅行委員会
12月5日 教育旅行委員会
1月8日 観光業界新年交礼会

〈東北支部〉

12月11日 幹事会
12月11日 海外旅行委員会
12月21日 アシアナ航空ソウル
現地視察団

〈関西支部〉

12月10日～11日 総務委員会